

4. 「ゼロカーボンシティかごしま」実現に向けたロードマップ

本市の目標達成に向けては、「エネルギー消費量の削減」「電化の促進」「エネルギーの脱炭素化」を中心に、吸収源の確保やその他の温室効果ガスの削減対策も含め、目指す姿である「2050(令和32)年 CO₂ 排出量実質ゼロ」を見据えた上で、必要な対策を講じる必要があります。CO₂ 排出量の



基準年度	現状	短期目標年度	中期目標年度	長期目標年度
2013	2018	2026	2031	2050
エネルギー消費量の削減 (省エネルギー)	断熱リフォームなど住宅等の省エネや個人の省エネ行動等によるエネルギー消費削減の徹底 公共交通の利用促進等による移動・輸送の高効率化		ZEH・ZEBの自立的普及 まちづくりと連携した都市全体のエネルギー効率の向上	
電化の促進	ヒートポンプ機器の普及促進 電気自動車等の普及促進		住宅・業務施設の100%電化、生産プロセスの大幅な電化	
エネルギーの脱炭素化	自家消費型太陽光を中心とした再生可能エネルギーの地産地消の促進 ゼロカーボン電力の利用拡大 FCV利用や家庭用燃料電池の導入等による水素需要の拡大 排熱等の有効活用の推進		再生可能エネルギーの主力電源化に向けた取組の推進 水素エネルギーの利用促進	
非エネルギー起源CO₂、その他ガスの削減	3Rの推進・プラスチックごみの削減 フロン類回収の徹底		プラスチックの代替素材製品の自立的普及・利用拡大 ノンフロン機器の利用拡大	
吸収源の確保 / CO₂ 回収技術	市域全体の森林の健全な維持・管理の推進 / 都市緑化の推進 CO ₂ 回収・有効活用の情報収集		CO ₂ 直接回収・貯留技術の導入拡大	
基盤的対策	市民・事業者の環境意識の啓発 脱炭素化に向けた革新的技術開発・イノベーションの促進		脱炭素化に向けたライフスタイル・ビジネススタイルの転換 研究開発の加速的促進、開発技術の市域への普及	

「ゼロカーボンシティかごしま」の実現